





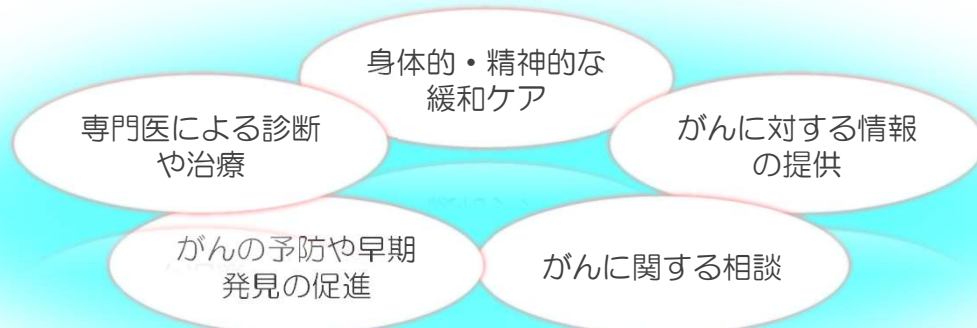
がん診療連携拠点病院とは



がん診療連携拠点病院は、がん診療の均点化を目的として、どの地域に住んでいても質の高いがん医療が受けられるよう、国により地域ごとに設置されています。東京歯科大学市川総合病院も地域がん診療連携拠点病院として指定されています。

がん専門医による診断や治療の提供だけでなく、がんの痛みをとる緩和ケアや精神的苦痛を和らげるケアも行い、患者さんの「生活の質」を大切に考えた支援を行っています。

また、地域の皆さんへのがんに関する情報の提供、予防や早期発見を促進する活動も重要な役割の一つです。



当院には、「がん相談支援センター」が設置されています。

治療や療養生活の不安や悩み、情報探しのお手伝いなど、様々なご相談について、専門の相談員がお応えしています。当院の患者さんやそのご家族の方でなくても、どなたでもご相談いただけます。

お困りごとがありましたら、おひとりで悩まずにお気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】

がん相談支援センター
047-322-0151（代表）

※ご相談内容によりそれぞれの
専門職種が対応いたします。

【受付時間】

月曜～金曜 9:00～17:00 / 土曜 9:00～12:00（第2土曜を除く）



東京歯科大学 次世代がん医療を担う多職種人材養成プランとは



2023年に文部科学省は、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことを目標に掲げ、人材育成の強化を推進するため次世代のがんプロフェッショナル養成プラン事業を立ち上げました。専門的な多職種人材を育成するために、東京歯科大学は、代表校の東京医科歯科大学と、慶應義塾大学、国際医療福祉大学、順天堂大学、東海大学、東京薬科大学の6大学と連携を図ることとなりました。

この7つの大学が中心となり、「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」を立ち上げ、現在様々な取り組みを行っています。また、この事業は人材育成の過程で必要な患者や家族、国民と情報交換を行いながら、問題点の共有、情報発信をおこなうことも重要な課題となっています。

7大学で取り組んでいる共通の課題・テーマ

01

がん医療の現場で
顕在化している課題に
対応する人材養成

02

がんの予防の推進を
行う人材養成

03

新たな治療法を開発
できる人材